

(施設)バラ IPM実践指標

分類	管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄			
					昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
予防	病害虫・雑草の発生しにくい環境整備	(重要) ほ場の選択と改善	1 施設周辺の排水を良好にするため、明渠・暗渠の設置等の対策をとる。	1				
		(重要) 健全苗の導入	2 病害虫被害を受けていない健全な苗を定植する。	1				
		(重要) ハウス内及び周辺の環境管理	3 ハウス内および周辺の雑草防除に努める。	1				
			4 枯れ葉等はほ場外に持ち出し適切に処分する。	1				
		(重要) 栽培管理	茎葉管理	5 適切な折り曲げ管理等を行い、通風、採光を良くする。	1			
			温湿度管理	6 夏期に高温・多湿とならないよう遮光資材や冷暖房設備を活用する。	1			
			水管理	7 栽培時期および作物の生育に応じた、適正な水管理を行う。	1			
			肥培管理	8 作物の生育に応じた、適正な肥培管理を行う。	1			
		(重要) 病害の発生した株の処理	9 病害の被害を受けた株はハウス外に持ち出し、適切に処分する。	1				
判断	防除要否・タイミングの判断	(重要) 病害虫の発生状況把握による防除要否の判断	10 ほ場内をよく観察し、病害虫の発生動向を的確に把握する。	1				
			11 粘着トラップ(黄色・青色)、フェロモントラップ等で害虫の発生状況を把握する。	1				
			12 摘除した花や葉を確認し、アザミウマ類やハダニ類の発生状況を把握する。	1				
		(重要) 病害虫発生予察情報等の活用	13 病害虫防除所の発生予察情報等により発生状況を確認する。	1				
防除	耕種的防除	(重要) 不要花の除去	14 アザミウマ・灰色かび病等の発生源となる不要花を除去し、施設外に持ち出して処分する。	1				
		(重要) 枯れ葉等の処分	15 アザミウマの蛹化場所となるベンチや通路上の枯れ葉は、ハウス外に持ち出し適正に処分する。	1				
		(重要) 器材の消毒	16 剪定鋏等は列ごとに交換し、消毒する	1				
	生物的防除	生物農薬の使用	うどんこ病	17 バチルスズブチリス剤(アグロケア)を散布する	1			
			ハダニ類	18 チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ等を放飼する	1			
			ヨトウムシ類 オオタバコガ	19 BT剤を散布する。	1			

(施設)バラ IPM実践指標

分類	管理項目	管理ポイント	点数	チェック欄			
				昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
防除	物理的防除 ハウスへの害虫侵入防止措置	防虫ネット等 20	ハウス内へのガ類の侵入を防止するため、ハウスサイド等の開口部に4mm目合いの防虫ネットを張る。	1			
		黄色蛍光灯等 21	ハスモンヨトウ、オオタバコガ等のハウス内への侵入を防止するため、黄色蛍光灯等を終夜点灯する。	1			
		光反射資材 22	ハウス内へのアザミウマ類、アブラムシ類等微小害虫の侵入を防止するため、ハウス周囲に光反射資材を設置する。	1			
	化学的防除 薬剤の選択	(重要) 農薬の適正使用 23	農薬の使用基準を順守し、適正な使用方法で使用する。	1			
		24	天敵を導入している施設では、天敵に影響が少ない薬剤を選択する。	1			
			25	病害虫の薬剤感受性低下を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。	1		
			26	簡易検定により、薬剤感受性低下または薬剤耐性(抵抗性)を確認した農薬の使用を控える。	1		
			27	薬剤感受性低下を防止するため、物理的防除効果のある薬剤を使用する。	1		
	(重要) 農薬散布後の処理 28	農薬散布後、散布器具やタンク等を十分洗浄する。農薬の残液やタンクの洗浄水は適正に処分し、河川等に流さない。	1				
	その他	(重要) 作業記録の記帳 29	病害虫の発生状況、管理作業、防除作業(使用した農薬の名称、使用時期、使用量、散布方法等)について作業日誌等に記帳する。	1			
(重要) 研修会等への参加 30		県や協会等が開催する研修会等に参加し、情報収集に努める。	1				

合計点数	0	0	0
対象IPM計	0	0	0
評価結果			
指数値評価			
指数の向上度評価(昨年⇒今年)			#DIV/0!

【チェック欄への記入方法】
 ①実施した場合は、「1」を記入
 ②未実施の場合は、「0」を記入
 ③チェック対象外であった場合は、「-」を記入

IPM指数値評価

A	指数80以上 (IPM実践農業者)
B	指数60以上、80未満 (IPM実践途上農業者)
C	指数60未満 (IPM準備中農業者)

IPM指数向上度評価

A	現状値より指数値20ポイント以上の向上
B	現状値より指数値10～20ポイント未満の向上
C	現状値から10ポイント未満の向上



※ (重要)は、必ず実施すべき基本的で重要な項目